

生活科学学習指導案

三和町立来見小学校
松 葉 伸 恵

1. 対象学年 第1学年
2. 単元名 かげあそびをしよう
3. 単元設定の理由

生活科の内容の(5)「季節の変化と生活」では、身の回りの動物や植物、自然の事物や現象に自らかかわり、その変化に気付き、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできる子どもを目指している。また、内容(6)の「自然や物を使った遊び」では、子どもが、身の回りの自然や物で遊びをつくり出す楽しさや夢中になって遊ぶ楽しさを味わえるようにし、友だちといっしょに遊ぶために工夫したり、約束やルールを作ったりして、友達とよりよいかかわりがもてるようにすることを目指している。

影は子どもにとっても身近な自然現象で、季節・時間・天候によってでき方が変化する。戸外での影遊びは、手軽にでき、「影ふみおにごっこ」「影作り」など自分たちでルールを決めたり、道具を工夫して使ったりして、友だちと楽しくかかわりながら遊ぶことができる。このように、体を使った影遊びは、影のおもしろさや不思議さをいろいろ発見し、光(太陽)と物の影の関係について気付きを深めていくことができるとともに、生活科の内容(5)や(6)の内容に迫るために有効な教材であると考えられる。また、3学期に国語科で学習する「たぬきの糸車」では、月明かりに糸車を回すたぬきの影が映る場面もあるので、この学習を関連させることができると考える。

本学級の児童は、外遊びや、花、木、土、水など身の回りにある自然の物を使った遊びが大好きである。1学期には、野原の探検に行き、シロツメクサでネックレスやブレスレットを作ったり、夏には、砂遊びや水に浮かべて遊ぶおもちゃを作って楽しく遊んだりした。そして、砂と水の関係や、水にうまく浮かべるためにはどんなことに気を付けて作ったらいかなどに気付くことができた。しかし、まだ自己中心的な言動が見られる子どもが多いためか、それぞれが一人で自分の遊ぶ物を作ることはできても、みんなで仲良く譲り合ったり工夫したりして遊ぶことができにくく、トラブルが起ることがよくある。

また、影という物は知っていても、太陽や光がある時にできることや影で楽しい遊びができることは知らないようであり、校庭で影遊びをしている姿を見たことはない。しかし、夏見つけをした時の「夏は暑いけれど、影に入ったら涼しいよ」「先生の影に入ってみよう」などの子どもの発言から影に興味をもっていることが分かる。これらのことをきっかけに本単元へと結びつけていきたい。

学習を進めるに当たっては、事前に9月初めの夏の影を探しておき、10月中旬の秋の影と比べてその長さの違いなども問いかけたり、朝、昼、放課後の影の長さや向きを比べたりして影に興味をもたせていきたい。

影ふみおにごっこでは、初めは、影を踏まれたら鬼に交代することだけ決めておき、「木などの影に入ったら、自分の影が消えるからタイムになる」「つかまらないようにするためには、小さくなればいい」など遊びながら、ルールを付け加えたり、気付いたことを生かしたりして、楽しく活動させたい。自分の後ろより前に影があった方がつかまりにくいので、そのためには、影のできる方向に逃げればよいことに気付く子がいれば取り上げ、気付かなければ、「どう逃げれば一番つかまりにくいかな?」と問いかけて考えさせたい。また、曇りの日や雨の日にも影を探してみることで太陽と影との関係に気付かせていきたい。

次に、教室で影作りを行うためにいろいろな光源で試して比べる。そして、手や道具、色の付いた様々な物、映す物の傾きや光源からの位置などを友達といっしょに考えたり、工夫したりして影を映し出すことで、影の特徴や影作りの楽しさに気付かせたい。

そして、「影の秘密を知ろう」では、これまでの活動の中で気付いたことを交流する時間を設定し、実際に試してやってみることで、実感を伴った気付きとして自覚させたい。

さらに、これまでの気づきを生かした発展的な活動として、影絵の人形劇をみんなで協力して作り、全校集会で発表して学習のまとめとしたい。

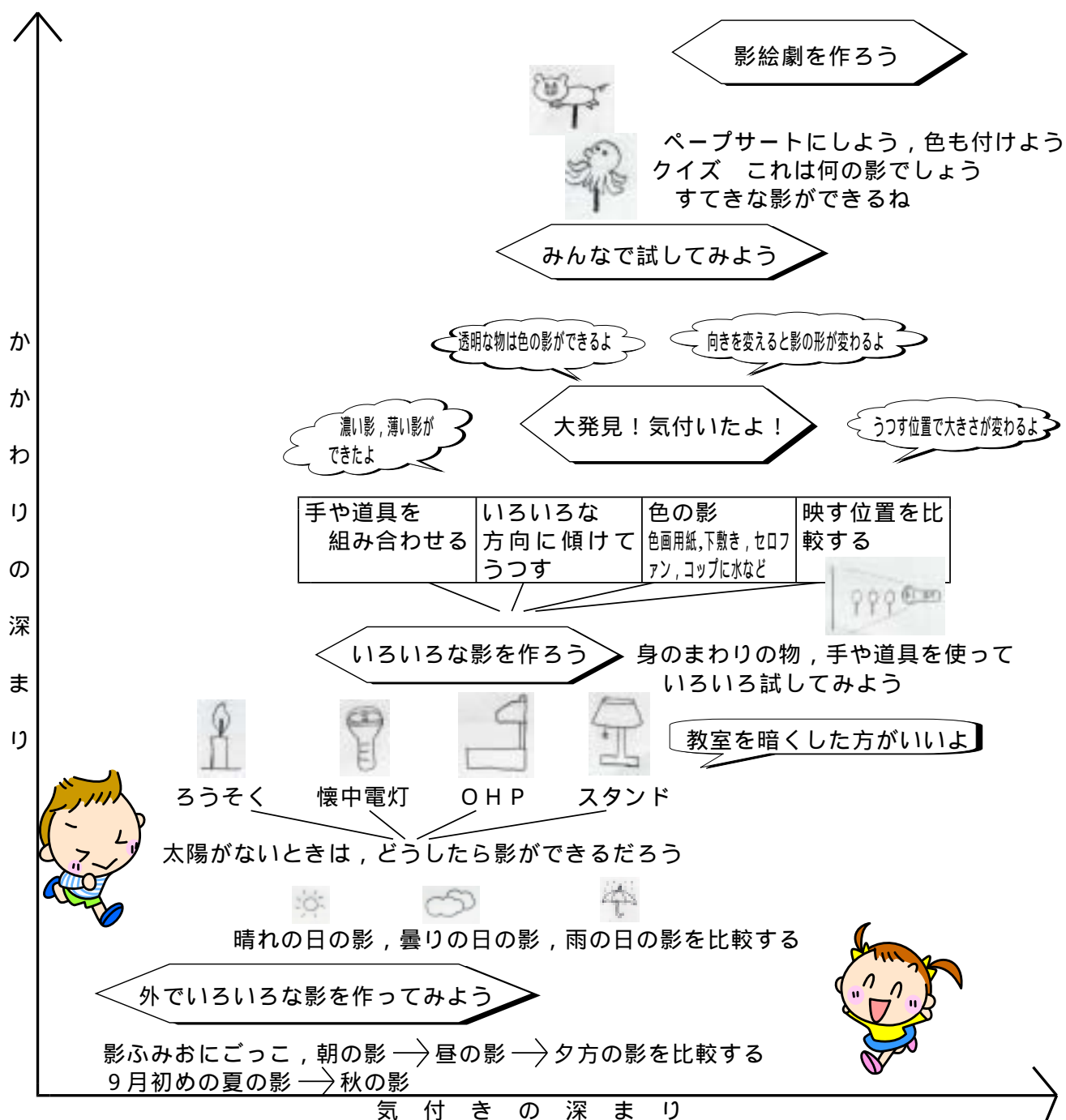
この学習で影見つけを行う場所は、主に校庭となるので、天気を考えながらいつでも活動でき、休憩時間や放課後なども遊びの中で追究していけると考える。また、様々な道具や材料を準備することで比較できるようにし、身近な影のおもしろさや不思議さなど気付いたことを遊びや活動に生かしながら、次の気づきが生まれてくるようにしたい。影ふみおにごっこや影絵の人形劇作りでは、ルールを話し合っ決めてたり、教え合いや協力したりすることで、友達とのよりよいかかわり方を学んでほしいと考えている。

4. 単元目標

影を使っていろいろな遊びをつくり出すことに興味をもち、「影見つけ」「影作り」「影絵の人形劇」などの活動を通して、光（太陽）と物の影の関係や影を使った遊びの楽しさに気付いたり、友達といっしょに楽しく遊ぶために工夫したりすることができる。

【学習指導要領の内容 (5) 季節の変化と生活 (6) 自然や物を使った遊び】

5. 単元構想図



6. 単元評価規準

	ア 生活への 関心・意欲・態度	イ 活動や体験についての 思考・表現	ウ 身近な環境や 自分についての気付き
5 季 と 節 生 の 活 変 化	影に関心をもち、進んで校庭に出て、影遊びを楽しもうとしている。	観察したり、試したりして分かったことや、楽しかったことなどを表現することができる。	自分たちの身の回りの自然の様子や現象について気付いている。 季節の移り変わりの特徴に気付いている。
6 自然 使 や っ 物 た を 遊 び	影や身近にある物に目を向けて遊ぼうとしている。影や物と一体になり、夢中になって遊んでいる。	自然や物、場所などの特徴や現象について考えることができる。 自然や物、場所などの特徴や現象を生かして、楽しく工夫した遊びを作り出すことができる。 工夫して作ったり、楽しかったこと、気付いたことなどを表現することができる。	影や身近な物を使った遊びの楽しさに気付いている。 遊びを通して、友だちのよさや自分との違いに気付いている。 影などの特徴に気付いている。 安全な道具の使い方や遊び方が分かっている。

7. 単元評価計画（全13時間）

次	学 習 内 容 (時 数)	評 価				評価方法
		関	思	気	評 価 規 準	
影 を 見 つ け て 遊 ぼ う	・校庭で自分の影やいろいろな物の影を見つけ、時間や季節の違いを比べる。(2) 朝・昼・放課後の影 9月と10月の影			○	・影を見つけることに興味を示し、進んで見つけたり、時間や季節によっての違いを比べようとする。 5 - ア , 6 - ア ・影が時間や季節によって違うことに気付き、絵や文にまとめることができる。 5 - イ ウ , 6 - イ ウ	行動観察 発言 つぶやき カード
	・ルールや約束を決めて、逃げる工夫や影を消す工夫を出し合いながら影ふみおにごっこをする。(1)	○		○	・進んでルールや約束を決めて、影ふみおにごっこを楽しもうとしている。 5 - ア , 6 - ア ・逃げ方や影を隠す方法を考えることができる。 6 - イ	行動観察 発言 つぶやき
	・いろいろな天気の日影を作って比べる。(2) 晴れの日、曇りの日、雨の日			○	・天気の違いによる影のでき方について考えることができる。 5 - ウ , 6 - ウ	行動観察 発言 つぶやき
び ろ ろ な 影 を 作 ろ う	・教室で、いろいろな光源を使って影を作る。(1) ろうそく、懐中電灯、 OHP、蛍光灯など	○		○	・教室で影を作ることに興味を持ち、いろいろな工夫をしようとする。 6 - ア ・光源による影の違いについて気付くことができる。 6 - ウ	行動観察 発言 つぶやき
	・いろいろな物を使って影を作って遊ぶ。(2) 本時 1 / 2 手や道具を使って、 向きや傾きを変えて、 色の影を作る、 光源からの位置を変えて			○	・手や道具を使って様々な形の影を作り、物の向きによって形が変わることや、物の位置によって影の大きさや濃さが変わること気付いている。 5 - ウ , 6 - ウ ・意欲的にいろいろな影を作り、影遊びを楽しんでいる。 6 - ア	行動観察 発言 つぶやき カード
し	・自分が見つけた影の秘密を発表して交流する。(1)			○	・影を作って遊んで発見したことを発表し、交流することができる。 5 - イ , 6 - イ	行動観察 発言 つぶやき カード

よ	秘密を知ろう	・ 交流したことをみんなで試してみる。(1)	○	・ 交流したことをみんなで試して，気付きを深めることができる。 6 - イ ， 6 - ウ	行動観察 発言 つぶやき
う	四 影絵の人形劇をしよう	・ 人形劇の話を決めて，準備や練習をする。(2)	○	・ 影絵の人形劇をするに興味を持ち，意欲的に話し合ったり，準備をしたりすることができる。 6 - ア ・ これまでの学習で気付いたことを生かして友達と協力して準備をすることができる。 6 - イ ウ	行動観察 発言 つぶやき
		・ 影絵の人形劇を発表する (全校集会 裁量 1)	○	・ 影作りで気付いた影の秘密を発表することができる。 5 - イ ， 6 - イ ウ	記録 発表 発言 つぶやき

8 . 本時の目標

自分の表したい形や色になるように，気付いたことを生かしながら，手やいろいろな道具を使って影作りをすることができる。(活動や体験についての思考・表現，身近な環境や自分についての気付き)

9 . 本時の展開

学習活動	指導上の留意事項	具体的な評価規準
1 . 本時のめあてをつかむ。 手や道具を使って試しながら，いろいろな影を作ろう。  2 . 手やいろいろな物を使って影を作る。 ・ うさぎの影を作ろう。耳が長いと分かりやすいな。 ・ 色の影を作ってみたいな。色画用紙でやってみよう。 ・ 電気に近づけたり離したりしてみよう。 ・ 傾けたり逆さにしたりしてみよう。 3 . 試しながら影の特徴を見つける。 ・ 画用紙と手でうさぎができたよ。 ・ 色画用紙は色の影にならないけど，セロファンは色が出るよ。 ・ この積み木は向きを変えると影の形が変わるよ。 ・ 電気に近づけると影が大きくなるよ。 4 . 本時の学習を振り返る。	・ 今までの活動を思い出させたり，教師が作った影を何か当てさせて活動への意欲づけを行う。 ・ 手や道具をいろいろ組み合わせて試してみるように声をかける。 ・ 色の影を作るためのいろいろな材料を事前に予想させ，準備しておく。 ・ 光源からの距離を変えることによって影の大きさが変わること気付かせる。 ・ 影のうまくできているところを評価する。 ・ 半透明の物を使うことで色や薄い影ができることに気付かせる。 ・ いろいろな物を使って，向きを変えて映し，試してみるよう声をかける。 ・ 光源からの距離が近いと影が大きくなり，遠いと小さくなることに気付かせる。 ・ 本時の学習を振り返っての感想を出し合い，教師の評価を行うとともに，次時の予告をする。	○ 意欲的にいろいろな影を作り，影遊びを楽しんでいる。 6 - ア < 行動観察・発言 ・ つぶやき > 手や道具を使っていろいろな影をつくり物の向きによって形が変わることや物の位置によって影の大きさや濃さが変わること気付いている 5 - ウ ， 6 - ウ < 行動観察・発言 ・ つぶやき・力 - ド >